

## (8) 一般機械工業

13 / 12 14 / 13 ◎ 伸び率 10%以上 ● 伸び率 0 ~ ▲ 10%  
: 天気図マーク: ● ○ ○ 伸び率 0 ~ 10% ● 伸び率 ▲ 10%以下

### I. 建設土木機械

#### 1. 企業経営動向（需要、生産・設備稼働、企業収益、財務）

##### (1) 需要

###### ①現状及びその要因

平成13年度の出荷額（出典：（社）日本建設機械工業会統計）は1兆1,402億円、対前年度比13.0%減と5年連続前年度割れとなった。内需については、公共工事の低迷などにより減少し、7,063億円、対前年度比19.9%減と5年連続前年割れとなった。一方、外需については、中国向けが好調となり、4,339億円、対前年度比1.2%増と4年振りの増加となった。

###### ②今後の見通し

（社）日本建設機械工業会によると、平成14年度出荷額（補給部品を含まず）を対前年度比6%減と6年連続前年度割れを見込んでいる。内・外需別には以下のとおり。

内需：上期は公共工事、住宅投資、民間設備投資の減少により対前年同期比12%減と予測している。下期は公共工事が引き続き減少するものの、国土交通省の排ガス2次規制をにらんだ対応機需要の増加、民間住宅投資の底打ち期待感から落ち込み幅は縮小すると見込まれることから対前年同期比7%減と予測している。年度合計では対前年同期比9%減と6年連続の減少を見込んでいる。

外需：上期は中国向けが堅調に推移するものの、北米需要が回復途上にあり、欧州では需要減が予測されることから3%減と予測している。下期はアジア向け需要の回復期待から対前年同期比1%増と予測している。年度合計では対前年度比1%減と5年連続の減少を見込んでいる。

##### (2) 生産・在庫

平成13年度を生産額（出典：経済産業省生産動態統計）は、需要の低迷のため、8,305億円と対前年度比17.4%の減少となった。

在庫（出典：経済産業省生産動態統計）は、需要低迷のため生産調整が進み、減少傾向にある。

##### (3) 企業収益

平成13年度は、需要低迷により業績を悪化させている企業が多く、大手4社で見えてみると、全ての企業が減収となり、そのうち2社が赤字決算となった。

## 2. 設備投資動向（13年度見込み、14年度計画）

### (1) 平成13年度実績見込み

平成13年度は、調査企業9社合計で205億円となった。これは268億円であった平成12年度に比べ23.6%減である。

目的別では、合理化・省力化投資（29.4%）、更新・維持・補修投資（21.0%）のウェイトが高く、研究開発投資（1.5%）は低調であった。

### (2) 平成14年度計画

平成14年度計画は、調査企業9社合計で144億円と計画されている。これは203億円であった平成13年度に比べ29.0%減である。

目的別では、合理化・省力化投資、更新・維持補修投資を中心とした構成には大きな変化が見られない。

## 3. 長期資金調達・運用動向（長期資金運用動向、長期資金調達動向）

### (1) 長期資金運用動向

平成13年度は平成12年度に比べ、取得設備投資所要資金がほぼ前年並みであるものの、投融資額が減少した。一方、短期資金への振り替えは増加した。

平成14年度計画は平成13年度に比べ、取得設備投資所要資金及び投融資額が増加し、短期資金が減少する計画になっている。

### (2) 長期資金調達動向

平成13年度は、借入金による資金調達が減少したのに対し、内部資金及び資産の流動化による資金調達が増加した。

平成14年度計画では、株式及び内部資金は前年度並、資産流動化による資金調達は減少し、借入金による資金調達が増加する計画となっている。